

アドミッション・ポリシー

教会における奏楽者・聖歌隊指導者・音楽主事などを目指す者、あるいは教会音楽の基礎的な知識を深め演奏技術の向上を願う者。

募集内容

課 程	修業年限	募集定員
教会音楽専攻科	1年	5名

出願資格

以下のすべてに該当する者。

- ① 4年制大学を卒業した者または2018年3月卒業見込みの者
(音楽大学以外の大卒者は、本学における教会音楽副専攻科目を履修していることが望ましい)。
- ② 受洗後、または、幼児洗礼の場合は信仰告白後1年を経た者で、キリストへの献身を表明し、在籍教会にて1年以上の教会生活を経て牧師の推薦を得た者。

選考日程

	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	2017年10月31日(火) ～11月9日(木) 必着	11月24日(金)	12月7日(木)	12月20日(水) 必着
第2回	2018年1月9日(火) ～1月18日(木) 必着	2月3日(土)	2月8日(木)	2月26日(月) 必着

試験内容

入試区分	試験科目
一般受験者	聖書 楽典 実技(専攻・副科) 面接
内部受験者(受験年度に本学学部卒業見込み者)	楽典 実技(専攻・副科) 面接

※ 試験日の時間割は出願締切後に受験者へ案内を送付します。

入学検定料

- ① 入学検定料：35,000円
- ② 出願書類を提出する以前に、募集要項出願書類の振込依頼書(様式1)で銀行にて送金すること。
- ③ 入金を確認できない場合は受験を許可しない場合があります。
- ④ 振込金受領書は検定料の入金を証明するものなので、大切に保管すること。
- ⑤ いったん納入された検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

大規模災害罹災に伴う入学検定料の免除について

申請条件を満たした被災者は入試における検定料の免除申請を行うことができます。

申請条件及び申請方法等の詳細は本学ウェブサイト (<http://www.tci.ac.jp/>) をご参照ください。

合格発表

各入試の合格発表日に、可否通知を受験者全員へ発送します。電話での問合せには応じません。合格発表日から数日経過しても通知が届かない場合は、教会音楽専攻科入試担当まで問い合わせること。

なお、受験者の便宜を考慮し、補助的な手段として以下の方法でも発表します。

- ・合格発表日午前 10 時より本学キャンパス内中央通路掲示板に、合格者の受験番号を掲示。
- ・合格発表日午前 10 時より本学 WEB サイト(<http://www.tci.ac.jp>)に、合格者の受験番号を掲載。

入学手続・入学辞退

合格者は、入学手続締切日までに学生納付金を納入し、所定の書類を提出すること。締切日までに手続きを完了しない場合は、合格を取り消すことがあります。詳細は合格通知書類とともに郵送します。入学手続き終了後に本学への入学を辞退する場合、2018 年 3 月 31 日までに申し出があれば納付金を返還します。

出願書類

提出書類		様式
受験票及び入学志願票	志願票に写真貼付 B. 払込金受領書は受験生控えとして保管すること(提出不要)	様式 1
履歴書及び身上書	履歴書に写真貼付	様式 2
信仰および召命の証し	1,200 字程度、縦長、横書き原稿用紙(本人直筆)	—
所属教会牧師等推薦書	推薦者は所属教会の牧師あるいは役員等指導的立場にある者。要厳封。	様式 3
キリスト者推薦書	推薦者は客観的に志願者を評価できるキリスト者。ただし志願者の 3 親等以内の親族は除く。要厳封。	様式 4
卒業(見込み)証明書・成績証明書	4 年制大学の卒業(見込み)証明書と成績証明書	—
実技試験曲目届	様式 5 裏面の記入例を参考に、注意事項にしたがって記入すること	様式 5
健康診断証明書	保健所・病院等で健康診断を受けること(可否には無関係です)	様式 6
顔写真 2 枚	写真サイズは縦 4cm×横 3cm。写真の裏に氏名とフリガナを記入すること 入学志願票や履歴書に貼付する写真とは別に 2 枚必要	—
宛名カード 1 枚	巻末とじ込み小封筒内	—
受験票返送用封筒	巻末とじ込みの小封筒を使用する。392 円分の切手貼付	—
作曲専攻の実技試験課題①	作曲専攻志願者のみ提出のこと(募集要項 3 ページ参照)	—
同窓生家族奨学金申請書	該当者で希望する者のみ提出のこと	様式 7
健康状況票兼配慮の申請書	該当者のみ提出のこと(注意事項 5 を参照)	様式 8

<注意事項>

1. 出願書類は添付の大封筒(出願書類送付用)にて出願期間内に本学に届くように簡易書留で郵送すること。
2. 様式の指定のない出願書類は志願者が各自用意すること。
3. いったん納入された検定料および出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
4. 出願書類等に記載された個人情報、選抜の実施、可否発表、入学手続き、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しません。
5. 身体に障がいがあり、受験及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、必ず出願書類提出の前に教会音楽専攻科入試担当に問合せください。また出願時には、健康状況票兼配慮の申請書(様式 8)を提出すること。
6. 外国籍の方は以下の書類も提出してください。
 - a. 在留カードのコピー(両面)
 - b. パスポートのコピー(氏名、パスポート番号等のページのみ)
 - c. 日本語能力試験 N2 またはそれと同等程度の日本語能力を有する証明書

出願書類提出先・問い合わせ先

東京基督教大学 教務部 教会音楽専攻科入試担当

〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目 301-5-1

電話:0476-46-1131

Fax:0476-46-1405

Email: churchmusic@tci.ac.jp

実技試験内容

専攻・副科組合せ一覧

専攻	実技試験の副科課題	入学後の副科
ピアノ	声楽	声楽
オルガン	声楽	声楽
声楽	ピアノ・オルガンのいずれか1つ	入試で選択した副科に同じ
作曲	ピアノ	入学後にピアノ・オルガン・声楽から選択
教会音楽論	ピアノ・オルガン・声楽のいずれか1つ	入試で選択した副科に同じ

専攻課題 (①、②がある科目については、両方必須)

ピアノ	<p>① Hanon39 番のスケール、全調の Dur, Moll より、当日指定する二つの調(Dur から1つ、Moll から1つ)を演奏すること。但し反復は省略し、短音階は和声的の後、反復なしですぐ旋律的を直結してカデンツを弾いて終わること。</p> <p>次の a)または b)を選択する。②の演奏時間は 10 分以内とする。</p> <p>a)ソナタ(J.Haydn, W.A.Mozart, L.v.Beethoven 作曲のもの)から、任意の1曲。 ただし、緩徐楽章を除く1つの楽章のみとし、反復は省略。</p> <p>b)自由曲(J.S.Bach の作品、ロマン派以降の作品など)1曲。</p>
オルガン	<p>演奏時間は①②合わせて 10 分以内とする。</p> <p>① コラール(賛美歌)に基づく作品。タイトルにコラール名が記されているものがこれに該当。作曲者は問わない。手鍵盤用に書かれた大譜表のみでも良い(足鍵盤付きの3段楽譜でなくとも良い)。外国版の他、日本基督教団から出版されているオルガン曲集数冊の中に、この種の作品を発見できる。</p> <p>② トッカータ、プレリュード、フーガなど、コラール(賛美歌)に基づかない自由な形式で書かれた作品。</p>
声楽	<p>演奏時間は①②合わせて 10 分以内とする。</p> <p>① カンタータ、オラトリオ、モテットの aria 1曲(原語、原調での歌唱とする)。</p> <p>② 日本語、あるいは日本語訳詞による独唱聖楽曲1曲。</p>
作曲	<p>① 歌、ピアノ、オルガンなどの宗教的内容の作品を、出願時に提出する。 演奏時間は 5 分以内。必ず楽譜で提出のこと。録音での提出は不可。</p> <p>② ① の作品を試験当日に5分以内で演奏し紹介する。ピアノ、オルガン、ギター使用可。(ギター使用の場合は持参のこと。)作品を事前に自分で録音して、試験当日に流してもよい。</p>
教会音楽論	筆記試験：教会音楽に関する小論文(70分)

副科課題 (①、②がある科目については、両方必須)

ピアノ	声楽専攻 教会音楽論専攻	<p>① ピアノ専攻課題①に同じ。 ソナタ程度の曲(ソナチネでも良い)。演奏時間は 7 分以内とする。</p>
	作曲専攻	<p>① ピアノ専攻課題①に同じ。</p> <p>② J.S.Bach シンフォニア(3声)より任意の1曲。 又は、ギター伴奏で作品を提出した者は、ギターで任意の曲でも可。</p>
オルガン	<p>任意のオルガン曲 1 曲。演奏時間は 7 分以内とする。 例: J.S.Bach Orgelwerke (Bärenreiter 版)、Achtzig Choralvorspiele (Peters 版)、Old English Organ Music (Oxford University Press)など。</p>	
声楽	<p>演奏時間は①②合わせて 6 分以内とする。</p> <p>① コンコーネ 50 番教則本の 1~10 番より、任意の 1 曲(高声・中声・低声いずれも可。また母音唱、階名唱どちらも可)</p> <p>② イタリア古典歌曲集、ドイツ歌曲集より任意の 1 曲。あるいは聖歌・賛美歌より任意の1曲。</p>	

注意事項

- ① 実技試験において暗譜の必要はありません。
- ② 伴奏者、譜めくり、アシスタントは受験生が手配し、同伴してください。それがどうしても困難な場合は事前にご相談下さい。
- ③ 出願から入試日前日までに、チャペル(パイプオルガン、ピアノ)又は練習室(ピアノ)を1時間無料で貸し出します。事前に希望日時などをお問い合わせください。

学生納付金

(円)

2018年度	初年度納付金	入学手続時最少納付額
授業料	802,000	268,000
施設費	255,000	85,000
教育充実費	16,000	16,000
合計	1,073,000	369,000

1. 入学手続締切日までに初年度納付金または入学手続時最少納付額を納入して下さい。初年度納付金は、年3回(入学手続時・8月・12月)の分納が可能です。8月・12月についての詳細は入学後別途通知します。
2. 授業料には専攻・副科のレッスン料が含まれます。専攻・副科以外のレッスンを受講する場合、レッスン料を別途徴収します。
3. 専攻科生は通学が原則ですが、希望する場合は独身寮または家族寮に入寮できます。寮費等は教会音楽専攻科入試担当に問い合わせてください。
4. スプリングリトリートへの参加を希望する場合、参加費27,000円を別途徴収します。
5. 修了時に同窓会入会金として2,000円を徴収します(すでに同窓会に入会している者は不要)。
6. 2018年3月31日までに入学辞退を申し出た場合は、納付金を返還します。

奨学金制度

<2018年度予定> *内容は変更される可能性があります。

奨学金名	金額(年額)	人数	備考
同窓生家族特別奨学金	100,000円	該当者	給付奨学金 東京基督教大学及び東京キリスト教学園各校前身校の同窓生家族が対象 出願時に申請書(様式7)を提出
教会音楽専攻科奨学金	最大300,000円	若干名	給付奨学金 教会音楽専攻科生が対象 入学後に申請

長期履修制度

専攻科の修業年限は1年ですが、入学手続時に申請し許可された場合は2年間に延長することが可能です。希望する場合は事前に教会音楽専攻科入試担当まで相談してください。長期履修制度を利用して2年間在籍する場合の学生納付金は以下のように徴収します。

1年目	通常の学生納付金と同額
2年目	在籍料： 通常の学生納付金のうち授業料及び施設費の10分の1 教育充実料： 通常の学生納付金と同額 レッスン受講料： 学部生のレッスン料と同額(受講の場合のみ) スプリングリトリート参加費： 通常の学生納付金と同額(参加する場合のみ) 寮費・食費： 通常の学生納付金と同額(寮生のみ)

建学の精神

プロテスタント福音主義信仰に立ち、教派を超えて21世紀の教会と社会に奉仕する世界宣教の働き人を育成するために、実践的な神学教育を施す。

1. 福音主義

聖書を誤りのない神のことばと信じ、かつ信仰と生活の唯一の規範とする福音主義に立って、正統的な神学に基礎づけられた教職者および奉仕者を育成する。

2. 超教派神学教育

超教派の神学教育に実績を持つ東京キリスト教学園にあって、教派を超えて日本の内外の諸教会と社会に奉仕し、その発展に寄与できる人材を育成する。

3. 実践的神学教育

福音主義諸教会や諸団体の期待と要望に応えるために、実践的神学を深め、教会と社会に仕える姿勢、行動力や指導力を養い、福音を肌で感じさせる人材を育成する。

4. 世界宣教

宣教の主イエス・キリストの大命令に応じて、世界各国とりわけアジア諸国に、キリストのからだである教会を建て上げる働き人として、宣教師や奉仕者を送り出す。

信仰基準

東京基督教大学が基準とする信仰は、旧・新約聖書に一貫して啓示され、古代共同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを旨とする福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1. 66巻からなる聖書は、聖霊の完全な靈感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。

したがって、聖書の記述には、誤りがありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとされたすべてのことを含み、信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。

2. 生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であります。

3. 神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。

4. 人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタン誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。

5. わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であります。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。

6. 主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで、主を信じる者はみな、罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。

7. 聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活をおくる力を与えて、キリストのかたちに似る者としてくださいます。

8. 教会は、そのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。

9. わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえらされ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たに、万国を父なる神におわたしになります。